2022年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は244日 (月平均20.3日), 勤務のべ 人数は1471人 (月平均123人) だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

4. 4

月平均

3. 相談件数

年間の相談受理件数は52件だった。年間のべ 571件の相談(月平均47.6件)を受理した。

各月における面接形態の内訳を Table 2に示す。2022年度は、COVID-19感染拡大の影響で対面による新規申込み受付を休止せざるを得ない期間がありつつも、2020年度から導入したオンライン相談を継続したこと、さらに、対面相談前日の電話による健康チェック等の感染対策を徹底したことで、昨年度を32件上回る相談実施数を確保できた。なお、2022年度に実施した心理検査を Table 3に示す。

月	新規申込	継続予約	中止・変更	紹介	その他	合計
4月	2	4	12	0	24	42
5月	4	3	9	0	18	34
6月	11	5	10	0	16	42
7月	6	7	15	0	27	55
8月	2	5	7	0	25	39
9月	5	4	15	0	33	57
10月	3	2	5	1	36	47
11月	11	8	11	0	28	58
12月	7	8	15	0	31	61
1月	1	6	22	0	33	62
2月	1	5	18	0	26	50
3月	0	4	15	0	26	45
合計	53	61	154	1	323	592

Table 1 電話対応の内訳

Table 2 相談の内訳

12.8

5. 1

0. 1

26. 9

49.3

月	初回面接	初回 オンライン	心理相談	心理相談 オンライン	並行面接	心理査定	その他	 合計
4月	0	2	18	7	0	0	0	27
5月	0	1	16	12	0	2	0	31
6月	2	0	22	10	0	2	0	36
7月	8	1	21	8	0	0	0	38
8月	3	0	20	6	0	3	0	32
9月	0	1	28	15	1	1	0	46
10月	4	2	32	14	0	0	0	52
11月	5	0	22	14	0	1	0	42
12月	8	0	49	14	0	1	0	72
1月	4	0	41	9	0	15	0	69
2月	0	0	41	13	0	0	0	54
3月	1	0	64	7	0	0	0	72
合計	35	7	374	129	1	25	0	571
月平均	2. 9	0.6	31. 2	10.8	0. 1	2. 1	0.0	47.6

Table 3 2022年度に実施した心理検査

		実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	11
A-CATS:	Anger Chiledren's Automatic Thought Scale	12
A-CCES:	Anger Children's Cognitive Error Scale	12
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	25
AQ:	Autism-Spectrum Quotient 日本語版	1
AQ 児童用:	Autism-Spectrum Quotient 日本語版 児童用	2
ARI:	Affective Reactivity Index	7
ARI 児童用:	Affective Reactivity Index 児童用	10
ARI-S:		10
ASCA:	Self - report form of Affective Reactivity Index	
	Anger scale for Chiledren and Adolescents	24
ASR:	Adult Self Report	6
アサーション行動尺度:	Assertion Behavior Scale	24
バウムテスト		2
BDI-II:	Beck Depression Inventory-II	28
CAARS:	Conner's Adult ADHD Rating Scales	3
CBCL:	Child Behavior Checklist	1
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	27
CDI:	Children's Depression Inventory	13
CES-D:	The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale	2
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	3
CGIS:	Clinical Global Impairment / Improvement Scale	1
DBDRS:	Disruptive Behavior Disorder Rating Scale	13
DPRS-C:	Depression Parent-Rating Scale for Children	12
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	25
FASA:	Family Accommodation Scale – Anxiety	26
FASA-CR:	Family Accommodation Scale for Anxiety – Children report	26
GAD-7:	Generalized Anxiety Disorder 7-item scale	26
GAMES test	Generalized Mixiety Disorder 1-item scale	20
育児感情尺度		1
ISI:	Incompie Coverity Index	
	Insomnia Severity Index	16
MEDSCI:	Manic Episode Diagnostic Screening Inventory	14
MIA:	Mobility Inventory for Agoraphobia	1
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	13
OASIS:	Overall Anxiety Severity and Impairment Scale	6
ODSIS:	Overall Depression Severity and Impairment Scale	6
親の養育態度尺度		1
PAS:	日本語版 Panic and Agoraphobia Scale	1
PCS:	日本語版 Pain Catastrophizing Scale	5
P-F スタディ		4
PHQ-9:	Patient Health Questionnaire-9	26
QOL26:	WHO Quality of Life 26	1
Rorschach Test		18
SADS:	Social Anxiety Disorder Scale	1
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	40
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	29
SCT:	Sentence Completion Test	2
SDQ:	The Strengths and Difficulties Questionnaire	17
SDQ. SDQ-P:	The Strengths and Difficulties Questionnaire for Parents	7
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	20
新版 TEG-3:	Tokyo University Egogram - New Ver.3	4
	Social Matunity Scale (Third Edition)	1
SRS-2:	Social Resposiveness Scale (Second Edition)	12
WAIS-IV:	Wechsler Adult Intelligence Scale-IV	5
YSR:	Youth Self Report	1
全検査合計		608

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。 主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

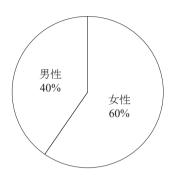


Figure 1 相談者の男女比

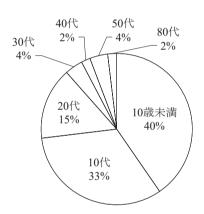


Figure 2 相談者の年齢層

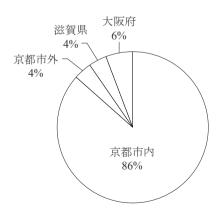


Figure 3 相談者の居住地域

5. 主訴内訳

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	36
うつ・不安	6
家族関係	1
勤務問題	2
対人関係	3
その他	4
合計	52

(複数回答なし)

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯 は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯(件数)

ホームページ	13
知人より紹介	5
学校より紹介	15
病院より紹介	4
新聞広告	13
パンフレット	0
その他	4
合計	54

(複数回答あり)

7. 特別プログラム実施状況

2022年度には2つの特別プログラムが実施され (Table 6),相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2022年度実施特別プログラム

プログラム	面接数
ここチャレ教室:	
怒りや感情のコントロール方法を学ぶ	91
子どもの認知行動療法プログラム	
CBT キッズ:	F.7
子どもの不安改善プログラム	57
合計	148

注1) 面接数は初回,継続,査定の合計を指す

8. 実習実績

博士課程前期課程12名の相談研修員が在籍し、本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は287.3時間,一人あたりの平均実習時間は23.9時間だった(スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 7のとおりだった。

Table 7 実習形態の内訳

面接担当 注1)	50. 0
面接陪席並	202. 0
プレイ	14. 0
検査	7. 0
受付	2. 3
その他	12. 0
合計	287. 3

- 注1) ケースでの主担当を指す
- 注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを 介した観察を指す

9. 広報活動

「ここチャレ教室: 怒りや感情のコントロール 方法を学ぶ子どもの認知行動療法プログラム」広告掲載(京都リビング、11月5日) 「CBT キッズ:子どもの不安改善プログラム」 広告掲載(京都リビング,11月19日)

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日 時 2023年3月15日 (水)

場 所 神学館会議室

出席者 武藤 崇 (センター長), 興津 真理子 (副センター長), 中谷内 一也 (学生支援機構長), 新関 三希代 (教育支援機構長), 山口 数宏 (総務部長), 平岩 洋平 (心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日 時 2022年4月13日 (水) 13:00-14:45

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長), 興津 真 理子(副センター長), 大屋 藍子, 笹川 宏樹,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 友渕 雅行(事務長)

第2回

日 時 2022年4月27日 (水)

13:00-14:47

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長),大屋 藍子, 笹川 宏樹,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 友渕 雅行 (事務長)

第3回

日 時 2022年5月18日 (水) 13:00-14:25

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長), 興津 真 理子(副センター長),大屋 藍子, 笹川 宏樹,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平(事務長)

第4回

日 時 2022年6月1日 (水) 13:00-13:45

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長),大屋 藍子, 笹川 宏樹,津田 菜摘,八木 安 理子,岸田 広平,横山 有果里, 米澤 里奈,平岩 洋平 (事務長)

第5回

日 時 2022年6月15日 (水) 13:00-13:55

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長), 大屋 藍子, 笹川 宏樹,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第6回

日 時 2022年6月29日 (水) 13:00-14:10

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長), 笹川 宏樹, 津田 菜摘,八木 安理子,横山 有 果里,米澤 里奈,平岩 洋平 (事 務長)

第7回

日 時 2022年7月13日 (水) 13:00-14:02

場 所 尋真館 心理臨床センター研修室

出席者 石川 信一, 神原 広平, 毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長), 笹川 宏樹, 津田 菜摘, 八木 安理子, 横山 有 果里, 米澤 里奈, 平岩 洋平 (事 務長)

第8回

日 時 2022年7月27日 (水) 13:00-13:59

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長), 笹川 宏樹, 津田 菜摘,横山 有果里,米澤 里 奈,平岩 洋平 (事務長)

第9回

日 時 2022年10月5日 (水) 13:00-14:20

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長),興津 真 理子(副センター長),笹川 宏樹, 杉若 弘子,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平(事務長)

第10回

日 時 2022年11月2日 (水) 13:00-14:18

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長),興津 真 理子(副センター長),笹川 宏樹, 杉若 弘子,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平(事務長)

第11回

日 時 2022年11月30日 (水) 13:00-14:05

場 所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子(副センター長), 笹川 宏樹, 杉若 弘子, 津田 菜摘, 八木 安 理子, 横山 有果里, 米澤 里奈, 平岩 洋平(事務長)

第12回

日 時 2022年12月21日 (水) 13:00-13:40

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長),興津 真 理子(副センター長),笹川 宏樹, 杉若 弘子,津田 菜摘,八木 安 理子,米澤 里奈

第13回

日 時 2023年1月25日 (水) 13:00-14:46

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇 (センター長), 興津 真 理子 (副センター長), 笹川 宏樹, 杉若 弘子,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第14回

日 時 2023年3月8日 (水) 13:00-15:02

場所 尋真館 心理臨床センター研修室 出席者 石川 信一,神原 広平,毛利 真弓, 武藤 崇(センター長),興津 真 理子(副センター長),笹川 宏樹, 杉若 弘子,津田 菜摘,八木 安 理子,横山 有果里,米澤 里奈, 平岩 洋平(事務長)

12. 研究活動

刊行物(著書・論文等)

Arai, H., <u>Ishikawa, S.</u>, Okawa, S., <u>Kishida,</u>
<u>K.</u>, Korte, K. J., & Schmidt, N. B.
Safety aid elimination as a brief,
preventative intervention for social

anxiety: A randomized controlled trial in university students. *Current Psychology*.

doi.org/10.1007/s12144-022-02981-8

Hako, S., <u>Kambara, K.</u>, & Ogata, A. The development and validation of the multidimensional fear-of-injection scale. *Health Psychology and Behavioral Medicine*, 10, 806-817.

星野 美奈・山本 雅哉・<u>肥田 乃梨子</u>・<u>石川 信</u> 一 通級指導における児童に対する電子版 メンタルヘルス予防プログラムの適用可能 性の検討 心理臨床科学, 12, 3-15.

Kambara, K., Hihara, S., & Kornacka, M. The bidirectional associations of rumination with values-based action and depression among young adults in the school-to-work transition. *Journal of Affective Disorders*, 324, 300–308.

Kambara, K., Russell, S. K., Kira, Y., Ogata, A., & Barnard, P. J. Disambiguating the relationship between processing modes and mindfulness in Japan: Development of the Revised Mini Cambridge-Exeter Repetitive Thought Scale—Japanese version. *Cogent Psychology*, 10, 2151726.

木原 陽子・津田 征海・石川 信一 中学生に 対する社会的問題解決訓練による社会的ス キル,不安・抑うつおよび自己効力感への 影響 心理臨床科学,12,29-38.

<u>菊田和代</u>「『安全?』『衛生?』,今からでも 知っておきたい基礎知識~企業における『労 働安全衛生』から学ぶ」に参加して 大阪 府臨床心理士会 News Letter, 55, 11.

<u>菊田和代・石川信一</u> プレゼンティズムの改善を目的とした認知行動療法:社交不安症者への介入法を職域に最適化した試み認知行動療法研究,48(3),297-307.

岸田 広平 子どもの不安症と抑うつ障害に対

する診断横断的介入 風間書房

- <u>岸田 広平</u> 子どもの不安症と抑うつ障害に対する認知行動療法――治療者トレーニングシステムの構築―― 若手・女性研究者奨励金 研究レポート, 4, 84-86.
- <u>岸田 広平</u> 児童青年の精神症状に対する COVID-19の影響に関する縦断的研究. 新 型コロナウイルス感染症に関する緊急研究 課題 COVID-19 Research Project 成果 報告書, 78-79.
- <u>岸田 広平</u> 書評『親子複合型認知行動療法セ ラピストガイド』 臨床心理学,22.
- Kishida, K., Hida, N., & Ishikawa, S.

 Evaluating the effectiveness of a transdiagnostic universal prevention program for both internalizing and externalizing problems in children:

 Two feasibility studies. *Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health*, 16 (1), 1–10.

 doi.org/10.1186/s13034-022-00445-2
- Kishida, K., Hida, N., Matsubara, K., Abe, N., Kira, Y., Takebe, M., ... & Ishikawa, S. Development of a teacher-delivered transdiagnostic universal prevention program for adolescents and examining its usability by teachers. Mental Health & Prevention, 28, 200-252.

doi.org/10.1016/j.mhp.2022.200252

- Kishida, K., Hida, N., Matsubara, K., M., Oguni, & Ishikawa, Implementation of a transdiagnostic universal prevention program anxiety in junior high school students closure after school during the COVID-19 pandemic. Journal ofPrevention, 44 (1), 69-84. doi.org/10.1007/s10935-022-00709-9
- Kishida, K., Ishikawa, S., Ubara, A., Abe, N., & Arai, H. Transdiagnostic

- behavioural intervention for children with anxiety and depressive disorders: A feasibility study. *Behaviour Change*, *39*, 235–246. doi.org/10.1017/bec.2021.24
- Kishida, K., Takebe, M., Kuribayashi, C.,
 Tanabe, Y., & Ishikawa, S.
 Development of the Anger Children's
 Cognitive Error Scale and the Anger
 Children's Automatic Thought Scale.
 Behavioural and Cognitive
 Psychotherapy, 50, 481-492.
- <u>Kishida, K., Tsuda, M., Takahashi, F., & Ishikawa, S.</u> Irritability and mental health profiles among children and adolescents: A result of latent profile analysis. *Journal of Affective Disorders*, 300, 76-83.
- Kurdi, V., Fukuzumi, N., Ishii, R., Tamura, A., Nakazato, N., Ohtani, K., Ishikawa, S., Suzuki, T., Sakaki, M., Murayama, K., & Tanaka, A. Transmission of basic psychological need satisfaction between parents and adolescents: The critical role of parental perceptions. Social Psychological and Personality Science, OnlineFirst, Feb 8, 2023.
- 松川 昌憲・松井 杏樹・韓 承勲・<u>大屋 藍子</u>・ <u>武藤 崇</u> アクセプタンス&コミットメン トセラピーが ADHD 傾向をもつ大学生に 与える影響 心理臨床科学, *12*(1), 17-28. <u>毛利 真弓</u> 怒りを吐露する(特集怒りとは何 か? — 攻撃性と向き合う) 臨床心理学, *23*(1), 70-74.
- 中村 祐也・仲宗根 魁修・<u>石川 信一</u>・山口 祐 子 強み介入における強み変数と自尊感情, 幸福感の関連の検討 帝塚山大学心理科学 論集, 6, 43-50.
- Ohtani, K., Tamura, A., Sakaki, M., Murayama, K., Ishikawa, S., Ishii, R.,

- Nakazato, N., Suzuki, T., & Tanaka, A. Parental perception matters: Reciprocal relations between adolescents' depressive symptoms and parental perceptions. *Journal of Counseling Psychology*, 70 (1), 103–118.
- Okawa, S., Arai, H., Nakamura, H., Ishikawa, S., Creswell, C., Shiko, Y., ... Shimizu, E. Guided parent-delivered cognitive behavioural therapy for Japanese children and parents: A single-arm uncontrolled study. Behavioural and Cognitive Psychotherapy, 51 (3), 265–270. doi:10.1017/S1352465822000704
- 佐野 実花・泉谷 紗里・<u>興津 真理子</u>・池田 浩 之 過剰適応傾向のある大学生を対象としたアサーショントレーニングの効果の検討 オンデマンド配信を通して 発達 心理臨床研究, *29*, 99-107.
- <u>笹川 宏樹</u> 障害相談における対応と工夫 川 松 亮他(編)日本の児童相談所――子ども家庭支援の現在・過去・未来 第2章第2 節 (pp.71-74)明石書店
- Tanaka, A., Tamura, A., Ishii, R., Ishikawa, S., Nakazato, N., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Murayama, K. Longitudinal association between mentarnal autonomy support and controlling parenting and adolescents' depressive symptoms. *Journal of Youth and Adolescence*, 52 (5), 1058–1073.
- <u>徳田 文美・杉若 弘子</u> 適応回復プロセスに対応したレジリエンス要因の抽出 パーソナリティ研究, *31*(1), 35-38,
- 八木 安理子 市町村における児童虐待防止と 支援のあり方――市町村だからこその悩み へのヒントとアイデア―― 市町村児童虐 待防止と支援のあり方の研究会(編著)岩 崎学術出版社

学会活動

- 阿部 夏希・戸谷 彰宏・清水 陽香・李 受珉・ 加藤 樹里・<u>神原 広平</u>・重松 潤・中島 健 一郎 大学生の不登校に影響を及ぼす要因 の検討:病院受診の回数と欠席回数に着目 した決定木分析(日本心理学会第86回大会, ポスター発表,9月)
- Ariki, K., Shima, T., & Muto, T.
 Association Hoarding and related disease, and Psychological Flexibility among Japanese university students.
 (the Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2022, ポスター発表, 6月16日)
- Conour, C. N., <u>Sugiwaka, H.</u>, Nelson, C. I., & Duncan, C. L. Self-control in pediatric migraine management: A topical review of the current literature. (Poster presented at the Society of Pediatric Psychology Annual Conference, Chicago, IL., 3月 30日)
- 波光 涼風・横山 仁史・神原 広平・尾形 明子 誰もが安心して注射処置を受けるために ——処置体験の語りに対するトピックモデ ルの適用——(日本認知・行動療法学会第 48回大会,ポスター発表,10月)
- Ishikawa, S. Universal Prevention Approach in School: Pragmatic trial after COVID-19 pandemic in Japan (The Medical Services Conference the 80th Anniversary Department of Medical Services: Do Our Best for All, Symposium: Building a Universal Mental Health Intervention to Support Children through COVID-19 Crisis (Web Convention) July.)
- <u>石川 信一</u>・高橋 高人・<u>中西 陽</u> 学級集団に 対する認知行動療法(日本認知・行動療法 学会第48回大会,宮崎大学,シンポジウム

(オンライン), 10月)

- 石川 信一 スクールワイド PBS の効果的な実装に向けた取り組み(日本認知・行動療法学会第48回大会、宮崎大学、シンポジウム(シーガイアコンベンションセンター)、10月)
- 石川 信一 子どもを対象としたストレスマネジメントへの ICT 活用の利点と課題(日本認知・行動療法学会第48回大会,宮崎大学,シンポジウム(シーガイアコンベンションセンター),10月)
- Ito, A., Miyazawa, H., & <u>Muto, T.</u> Does Affect Labelling give effect to the performance of Defusion? (the Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2022, ポスター発表, 6月)
- 神原 広平・加藤 樹里・戸谷 彰宏・阿部 夏 希・李 受珉・重松 潤・清水 陽香・中島 健一郎 青年の孤独感に対する友人とのオ ンライン交流の影響 Directed Acyclic Graphic の推定 (日本心理学会第86回大会, ポスター発表, 9月)
- 神原 広平・難波 修史・横山 仁史・尾形 明子 日々の反すうはなぜ維持されるのか:反す うと気分の動的関係に影響する特性要因の 検討 (日本認知・行動療法学会第48回大会, ポスター発表, 10月)
- Kelleher, J., <u>Sugiwaka, H.</u>, Druskin, L., & Duncan, C. Topical review: A cultural comparison of type 1 diabetes transition programs in the United States and Japan. (Poster presented at the Society of Pediatric Psychology Annual Conference, Chicago, IL., 3月 31日)
- 木原 陽子・乳原 彩香・石川 信一 疑似体験 介入による大学生の自閉スペクトラム症に 対するパブリックスティグマの変化(日本 認知・行動療法学会第48回大会,宮崎大学, ポスター発表(シーガイアコンベンション

センター),10月)

- 吉良 悠吾・神原 広平・尾形 明子 日本語版 Teaching Behavior Questionnaire (TBQ) の作成と高校生の抑うつとの関 連性の検討(日本心理学会第86回大会,ポ スター発表,9月)
- 小関 俊祐・杉山 智風・岸野 莉奈・吉村 英 里・河田 友紀子・栗田 駿一郎・高橋 高 人・石川 信一 児童を対象とした集団メ ンタルヘルス教育プログラムの構築と効果 検証(日本認知・行動療法学会第48回大会, 宮崎大学,ポスター発表(シーガイアコン ベンションセンター),10月)
- Matsukawa, M., Matsui, A., Han, S., Ohya, A. Acceptance and Commitment Therapy in college students with ADHD tendencies (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2022, ポスター発表, 6月)
- 丸山 奈緒子・石川 信一・乳原 彩香・松永 美希 インターネットを用いた認知再構成プログラムが大学生の抑うつに与える影響 (日本認知・行動療法学会第48回大会,宮崎大学,ポスター発表(シーガイアコンベンションセンター),10月)
- 中島 健一郎・戸谷 彰宏・阿部 夏希・李 受 珉・加藤 樹里・<u>神原 広平</u>・重松 潤・清 水 陽香 新生活に伴う孤独リスクの規定 因を探る(1) — 孤独感に影響する要因 の検討——(日本社会心理学会第63回大会, ポスター発表,9月)
- 中西 智愛・関 亜貴升・杉本 和浩・乳原 彩香・石川 信一 中学生におけるメンタル ヘルス予防プログラムの有効性の検討(日本認知・行動療法学会第48回大会,ポスター発表(シーガイアコンベンションセンター), 10月)
- 西村 陽菜・波光 涼風・松本 美涼・神原 広 平・尾形 明子 主張性と学級風土が抑う つに及ぼす影響の検討(日本認知・行動療 法学会第48回大会,ポスター発表,10月)

- 重松 潤・波光 涼風・神原 広平・村上 理子・ 尾形 明子 新版特性的自己効力感尺度日 本語版 (NGSE-J) の作成と信頼性・妥当 性の検討 (日本心理学会第86回大会,ポス ター発表,9月)
- 清水 陽香・戸谷 彰宏・阿部 夏希・李 受珉・ 加藤 樹里・<u>神原 広平</u>・重松 潤・中島 健 一郎 大学生の対人関係が学業成績に及ぼ す影響の検討(日本心理学会第86回大会, ポスター発表,9月)
- 戸谷 彰宏・阿部 夏希・李 受珉・加藤 樹里・ 神原 広平・重松 潤・清水 陽香・中島 健 一郎 大学生の孤独リスクに関わる諸要 因:各尺度における基礎的分析の報告(日 本心理学会第86回大会,ポスター発表,9月)
- 戸谷 彰宏・阿部 夏希・李 受珉・加藤 樹里・ 神原 広平・重松 潤・清水 陽香・中島 健 一郎 新生活に伴う孤独リスクの規定因を 探る (2) ――主観的健康度に影響する要 因の検討――(日本社会心理学会第63回大 会、ポスター発表、9月)
- 戸谷 彰宏・阿部 夏希・李 受珉・加藤 樹里・ 神原 広平・重松 潤・清水 陽香・中島 健 一郎 大学生の孤独感に影響する要因の検 討(日本グループ・ダイナミックス学会第 68回大会,ポスター発表,9月)
- 乳原 彩香・石川 信一 不眠症状を呈する成人 の安全確保行動をターゲットとしたセルフ ヘルプ介入の有効性の検討(日本睡眠学会 第47回定期学術集会,ウェスティン都ホテ ル京都,口頭発表,6月)
- 八木 安理子 市区町村子ども家庭支援における役割と支援のこれから (basic lecture, 日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会, 12月11日)
- 八木 安理子 「児童家庭ソーシャルワーカーに 必要な知識と技術 — 英国の KSS (Knowledge and skills statement for child and family practitioners) を参考 に — 」 (大会企画シンポジウム,日本子 ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか

大会, 12月11日)

八木 安理子 こども大綱に関するシンポジウム (日本子ども虐待防止学会,オンライン, 2月4日)

研究会活動

- 石川 信一 「学校で実施するメンタルヘルス増進を目指した予防プログラムの実践研究」 (公益財団法人日本心理学会ウェルビーイング教育研究会第二回研究集会:実践例の共有,オンライン研究会,3月)
- <u>笹川 宏樹</u> 対応のバリエーション (そだちと 臨床研究会 企画・運営,6月4日,10月22日, 3月11日)
- <u>笹川 宏樹</u> 第40回ワークショップ・イン・神 戸(そだちと臨床研究会 企画・運営,6月 18-19日)
- Sugiwaka, H. Inhibitory and initiatory self-control in pediatric chronic disease. (WVU sPLAT Speaker Event, Morgantown, WV, U.S.A., 9月21日)
- 八木 安理子 「こども家庭センター及びサポートプランについての調査研究」委員(厚生 労働省委託三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株), 2022年度5回)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会のあり方に関する検討委員会」委員(厚生労働省委託,(株)シート・プランニング,2022年度5回)
- 八木 安理子 令和4年度子ども・子育て支援推 進調査研究事業「児童相談所における要保 護指導等の援助事例の実態に関する調査研 究」(検討委員会委員,有限責任監査法人 トーマツ,2022年度3回)
- 八木 安理子 在宅,アセスメント研究会 分担研究 加藤 曜子 (流通科学名誉教授,文部科学研究 (20h00106)「養育環境リスク要因の累積が人間発達に及ぼす客観的影響性と影響防御機序の解明」(主任研究 菅原ますみ)

講演・公開講座

- <u>肥田 乃梨子</u>・松原 耕平・<u>岸田 広平</u> 「メンタ ルヘルス予防教育プログラム――こころ あっぷタイム+――」(西京高等学校附属 中学校校内研修会,4月)
- <u>肥田 乃梨子</u>・松原 耕平・<u>岸田 広平</u> 「メンタ ルヘルス予防教育プログラム — こころ あっぷタイム+ — 」(京田辺市小・中学 校校長会, 4月)
- 肥田 <u>乃梨子</u> 「メンタルヘルス予防教育プログラム こころあっぷタイム+ 」(京都産業大学附属中学校校内研修会,4月)
- 石川 信一 「『子どものためのメンタルヘルス 予防教育』研修会――2030年のレジリエン ス社会を目指して――」(令和3年度教育課 題研修いのちを大切にする教育、木津川市 教育委員会主催研修会、6月)
- <u>石川 信一</u> 「子どものためのメンタルヘルス予防プラグラム」(子どものためのメンタル ヘルス予防教育プログラムタスクフォース 養成研修会(夏),7月)
- 石川 信一 「こどものためのメンタルヘルス予防プラグラム」(令和4年度新規実施校事前研修会、8月)
- 石川 信一 「学校での児童・生徒のメンタルへ ルス予防教育プログラム」(令和4年度練馬 区立学校教育支援センター学校教育相談研 修会(オンライン),8月)
- 石川 信一 「子どものメンタルヘルスについて 考える」(令和4年東京都公立学校難聴・言 語障害研究協議会多摩北ブロック研究会 (オンライン),9月)
- 石川 信一 「学校で育む子どものメンタルヘルス」(東大阪市教育センターが主催する令和4年度健康教育研修会,10月)
- 石川 信一 「生徒指導に生かす子どもの不安と その支援」(滋賀県教育委員会,および滋 賀県学校保健会が主催する第66回滋賀県学 校保健・安全研究大会,10月)
- <u>石川 信一</u> 「子どものためのメンタルヘルス予 防プラグラム」(子どものためのメンタル

- ヘルス予防教育プログラムタスクフォース 養成研修会(秋),11月)
- <u>石川 信一</u> 「井手やまぶき支援学校教職員研修会」(京都府立井手やまぶき支援学校令和4年度医療専門職派遣事業,2月)
- <u>石川</u> 信一 「心の健康に活かす学校での認知行動療法」(埼玉学校臨床心理研究会研修会第3回全体会,3月)
- 石川 信一 「レジリエンシープログラムの考え 方を日々の指導で活かす」(京都市立塔南 高等学校のメンタルヘルス予防教育2022年 度報告会,3月)
- <u>石川 信一</u> 「子どものためのメンタルヘルス予防プラグラム」(子どものためのメンタル ヘルス予防教育プログラムタスクフォース 養成研修会(春,オンライン),3月)
- <u>毛利 真弓</u> 「性非行の分析と再非行防止のため の働きかけ」(大阪家庭裁判所調査官等研 修,大阪家庭裁判所,9月)
- <u>毛利 真弓</u> 「性暴力行動・性犯罪に対する基本 的知見及び再犯防止に関する処遇プログラ ムについて」(福岡法務少年支援センター 研修 (オンライン), 12月)
- <u>毛利 真弓</u> 「治療共同体の実践から――心理的 アプローチの方策――」(兵庫県社会福祉 士会司法部会研修会(オンライン), 1月)
- <u>毛利 真弓</u> 「対話の効能〈わたし〉と〈あなた〉 のあわい」:第3回「回復共同体」(公益財団法人せたがや文化財団生活工房主催ワークショップ,生活工房ワークショップルーム B,3月)
- <u>毛利 真弓</u> 「虐待体験と立ち直り」(福岡虐待 防止研究会、アクロス福岡、1月)
- <u>毛利 真弓</u> 「きょうだい間性暴力について」 (京都少年鑑別所地域援助推進協議会,京 都少年鑑別所,2月)
- <u>毛利 真弓</u> 「性問題行動の基本的理解」①② (性暴力被害者サポートひろしま研修,1月, 3月)
- 大屋 藍子 「患者の治療への取組みを促すため のアクセプタンス&コミットメント・セラ

- ピー ― 糖尿病栄養指導に活かす心理支援 スタイル― 」(Senri Diabetes Meeting 〜糖尿病の心理行動療法を考える〜 4月, MSD 株式会社/ノボ・ノルディスクファー マ株式会社)
- <u>笹川 宏樹</u> 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」(令和4年度児童相談所関連研修 児童福祉司スーパーバイザー研修,特別区職員研修所,8月5日)
- <u>笹川 宏樹</u> 「解決志向の面接と、対応のバリ エーション」(京都市子どもはぐくみ室心 理支援員研修会、キャンパスプラザ京都、 9月20日)
- <u>笹川 宏樹</u> 「要保護児童対策地域協議会の活用 等関係機関との連携」(2022年度児童相談 所長研修 A・B〈後期〉,子どもの虹情報 研修センター,10月12日,10月26日)
- <u>笹川 宏樹</u> 「子ども家庭相談センター(児童相 談所)の業務と役割~人権教育の観点から 理解を深める~」(令和4年度大阪府立交野 高等学校人権研修, 交野高等学校, 12月8日)
- 八木 安理子 「子ども家庭福祉に携わる人材の 専門性」パネル討議「求められる専門性」 (2022年度テーマ別研修,子どもの虹情報 研修センター,4月22日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の効果的なネットワークと子ども家庭総合支援 拠点のこれから」(八街市要保護児童対策地域協議会代表者会議研修,6月16日)
- 八木 安理子 「関係機関との連携・協働と在宅 支援」(令和4年度児童相談所関連研修児童 福祉司任用後研修,特別区職員研修所,5 月19日)
- 八木 安理子 「市町村における児童虐待防止に 向けた対応について」(羽曳野市こども家 庭支援課研修,7月4日)
- 八木 安理子 「子ども・家庭福祉における福祉 実践と福祉行政の役割」(令和4年度福祉行 政職員初任者研修,公立大学法人岩手県立 大学,8月2日-3日)
- 八木 安理子 「模擬事例から学ぶ教育と福祉の

- 協働」(2022年度教育・福祉虐待対応職員 合同研修,子どもの虹情報研修センター, 8月4日)
- 八木 安理子 「ヤングケアラーとは~現状や子 どもたちの心を理解し,支援の一歩へ~」 (富田林市要保護児童対策地域協議会,8 月18日)
- 八木 安理子 「子ども家庭相談の運営と相談援助のあり方」(令和4年度大阪府要保護児童対策調整機関の調整担当者研修,NPO 法人児童虐待防止協会,8月23日)
- 八木 安理子 「子ども虐待対応~在宅支援を中 心に~」(石川県児童福祉司任用後研修, 金沢市児童相談所,8月28日)
- 八木 安理子 「児童虐待の現状と防止への取組 について〜地域連携における子ども虐待防 止〜」(岩手県議会教育・子ども政策調査 特別委員会、岩手県議会事務局、9月1日)
- 八木 安理子 「市町村の子ども家庭支援を考える」(令和4年度山形県市町村職員専門性強化研修会,山形県しあわせ子育で応援部,9月14日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の効果的な活用~関係機関の連携を活かして」 (令和4年度岡山市要保護児童対策地域議会職員研修会,9月16日)
- 八木 安理子 「地域のネットワークを生かした 子どもの見守り」(金沢市要保護児童対策 地域協議会代表者会議,金沢市こども相談 センター,10月31日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の役割と今後の取り組み」(堺市要保護児童対策地域協議会関係機関研修,堺市こども家庭課,11月14日)
- 八木 安理子 「ヤングケアラーの理解と支援に ついて〜気づきの眼の大切さ〜」(泉佐野 市要保護児童対策地域協議会講演会,泉佐 野市こども部,11月16日)
- 八木 安理子 「相談対応の基本的姿勢,児童虐 待の初期対応における注意点,アセスメン トの視点,リスク管理の方法について」(富

- 田林市要保護児童対策地域協議会・事務局, 1月16日)
- 八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の役割と今後の取り組み」(令和4年度第2回子どもを守る山梨ネットワーク会議市町村部会、山梨県子ども家庭課、1月27日)
- 八木 安理子 「子ども家庭総合支援拠点を活用 したネットワーク~子どもと家族の地域で の支援を目指して~」(令和4年度島根県児 童虐待防止対策推進連絡会,島根県子ども 青少年課,1月31日)
- 八木 安理子 「実践報告 関係機関と子どもの 育ちをつないでいく支援」(令和4年度全国 研修指導者養成研修,国立武蔵野学院附属 人材育成センター,2月8日)
- 八木 安理子 「市区町村子ども家庭支援の現状 と役割」(アドバイザー派遣事業 市区町 村子ども家庭支援体制強化研修,西日本こ ども研修センターあかし,2月21日北海道, 22日青森県,24日岩手県)
- 八木 安理子 「新版K式発達検査2020から見る 子どもの発達の見立て」(河内長野市健康 推進課長、3月17日)
- 八木 安理子 「子どもをまんなかに!~子どものココロを理解する~」(堺市南区子育て支援者向け研修会,堺市南区保健福祉総合センター,3月23日)
- 八木 安理子 「話の聴き方~落ち着いて対応するために必要な視点」(八尾市要保護児童対策地域協議会実務者研修会,八尾市こども総合支援課,3月24日)

その他

- <u>石川</u>信一「県内大学生が創る奈良の未来事業 指導助言」(奈良県立教育研究所「県内大 学生が創る奈良の未来事業」,1月)
- <u>毛利 真弓</u> 令和4年度山口刑務所性犯罪再犯防 止指導スーパービジョン(月1回の実施)
- <u>毛利 真弓</u> 令和4年度広島県立広島学園性問題 行動再発防止プログラム及び児童グループ ワークのスーパービジョン(月1回の実施)

- <u>毛利 真弓</u> 令和4年度京都府立淇陽学校事例検 討スーパービジョン (月1回の実施)
- <u>毛利 真弓</u> 少年サポートセンターひろしまに おける福祉犯被害者の保護者グループスー パービジョン (2022年9月-2023年1月の全5 回)
- <u>毛利 真弓</u> 京都府困難事例サポート事業に基づく施設内性問題行動に関する助言指導 (児童養護施設桃山学園,3月3日)
- <u>毛利 真弓</u> 福岡法務少年支援センター地域支援事例に関するスーパービジョン (オンライン, 11月10日)
- <u>興津 真理子</u> カップルセラピースーパーヴィ ジョン(一般社団法人京都精神分析心理療 法研究所, 2022年4月~2023年3月)
- <u>笹川 宏樹</u> 児童相談所第三者評価業務委託 (日本児童相談業務評価機関 8月, 12月)
- 八木 安理子 河内長野市こども家庭総合支援 拠点 SV 研修会 (SV, 河内長野市, 年3回) 八木 安理子 西日本こども研修センターあか
 - し企画評価委員(委員委嘱,年2回)

2021年度 未記載の活動記録

<u>石川</u> 信一(2022). 臨床心理学 同志社大学心 理学部(編)ようこそ,心理学部へ 筑摩 書房 pp.35-58

13. 2022年度構成員

センター長

武藤 崇(心理学部 教授)

副センター長

興津真理子(心理学部 教授)

指導相談員

石川 信一(心理学部 教授)

神原 広平(心理学部 助教)

毛利 真弓 (心理学部 准教授)

大屋 藍子(心理学部 准教授)

杉若 弘子(心理学部 教授)

津田 菜摘(心理学部 助教)

八木安理子(心理学部 客員教授)

特任指導員

笹川 宏樹 (心理学部 嘱託講師)

嶋 大樹(心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会的トリートメン

ト研究センター 嘱託研究員)

梅澤友香里

(実証に基づく心理・社会的トリートメン

ト研究センター 嘱託研究員)

岸田 広平(心理学部 助教)

相談員

横山有果里(心理臨床センター)

米澤 里奈(心理臨床センター)

相談研修員

松岡 里紗

(心理学研究科博士課程後期課程)

舩津 萌実

(心理学研究科博士課程前期課程)

木原 陽子

(心理学研究科博士課程前期課程)

中島 香

(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 智愛

(心理学研究科博士課程前期課程)

野田 昌宏

(心理学研究科博士課程前期課程)

有木京志郎

(心理学研究科博士課程前期課程)

伊藤 綾音

(心理学研究科博士課程前期課程)

松川 昌憲

(心理学研究科博士課程前期課程)

中島 匠

(心理学研究科博士課程前期課程)

清水 優美

(心理学研究科博士課程前期課程)

田原 一樹

(心理学研究科博士課程前期課程)

吉松 滑音

(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 陽

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

阿部 望

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

横井 沙郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

竹村 忠寛

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

伊井 彩郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

奥山 朝子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

徳田 文美

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

井森 萌子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

牧野 未菜

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

髙村 朋加

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

津田 征海

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)